

競技運営に当たっての注意事項

1. 本大会は、平成22年度日本陸上競技連盟競技規則によって競技を行う。
2. 競技の円滑な運営を図るため、招集完了時刻を厳守すること。招集完了時刻は、トラック競技で競技開始時刻の15分前、フィールド競技で競技開始時刻の20分前とする。一部、トラック競技で20分前に招集完了の競技もあるので注意すること。
3. トラック競技のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラム記載順とする。
4. トラック競技において、フィニッシュラインに入ったらレーンに沿って走り抜けた後、直ちにフィニッシュラインに戻り審判にナンバーカードを見せること。
5. トラック競技で800m以上の競技は、オープンコースとする。
6. 小学男女の競技において、100m・80mH・4×100mR・走り幅跳びのみスパイクの使用を認める。
7. リレーのユニホームは統一すること。
8. 走り高跳びの跳躍方法ははさみ跳びとし、マットへは足からの着地を原則とする（背、腰等から落下した場合は無効試技とする）。走り高跳びのバーの高さは、次のとおりとする。但し、1等決定のための試技については2cm刻みにバーを上げる。

	練習	1	2	
高校一般男子	1m50	1m55	1m60	以後、3cm刻みにバーを上げる。
高校一般女子	1m25	1m30	1m35	
中学男子	1m15	1m20	1m25	
中学女子	1m15	1m20	1m25	
小学男子	0m85	0m90	1m95	以後、5cm刻みにバーを上げ、男子は130cm・女子は125cm になったら3cm刻みにバーを上げる。
小学女子	0m85	0m90	1m95	

9. 小学男女のフィールド競技の試技は3回とし、ベストエイトは行わない。
10. 試技用具は、主催者が用意したものを使用するものとするが、不足の場合は、選手の用具を検査し主催者で借り上げ使用する。
11. 競技者及び競技役員以外立入禁止のエリア内（特に、トラック種目のフィニッシュ地点及び走り幅跳びのピット脇）には、競技運営に支障が出る場合があるので決して立ち入らないこと。

《その他のお知らせと注意事項》

1. 大会当日、選手招集所で大会プログラムを販売します。1冊500円です。ぜひ記念にお買い求めください。
2. 大会前日のグラウンド開放時間は午後1時～午後3時です。引いたライン等が消えないよう注意しながら練習してください。
3. 各団体のテントは、決められた時間帯（大会前日の午後1時～）に決められた場所（競技役員が指示します）に設置するものとし、設置の際は、突風に吹き飛ばされないことがないようペグ等でしっかりと固定すること。
4. 会場付近の駐車スペースには限りがあるので、近くの方は自家用車をひかえていただくか、可能な限り乗り合いでの来場をお願いします。